



令和 7 年 10 月 6 日

報道関係 各位

名古屋市立大学 医学部事務課
担当課長（リハビリテーション学専攻） 中村 友昭
電話：052-853-8037

岐阜県飛騨市 市民福祉部
次長 都竹 信也
電話：0577-73-7483

名古屋市立大学 × 岐阜県飛騨市
社会技術研究開発センター（RISTEX）2025 年度
「SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム
（シナリオ創出フェーズ）」に採択されました

社会技術研究開発センター（RISTEX）2025 年度「SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム（シナリオ創出フェーズ）」に**名古屋市立大学と岐阜県飛騨市の協働実施による研究開発プロジェクト**が採択されました（研究代表者：医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻 塩津裕康、協働実施者：岐阜県飛騨市長 都竹淳也）。

記

1 事業名称

「教育—保健医療—行政連携によるインクルーシブ教育システムの確立と多地域展開」

2 概要

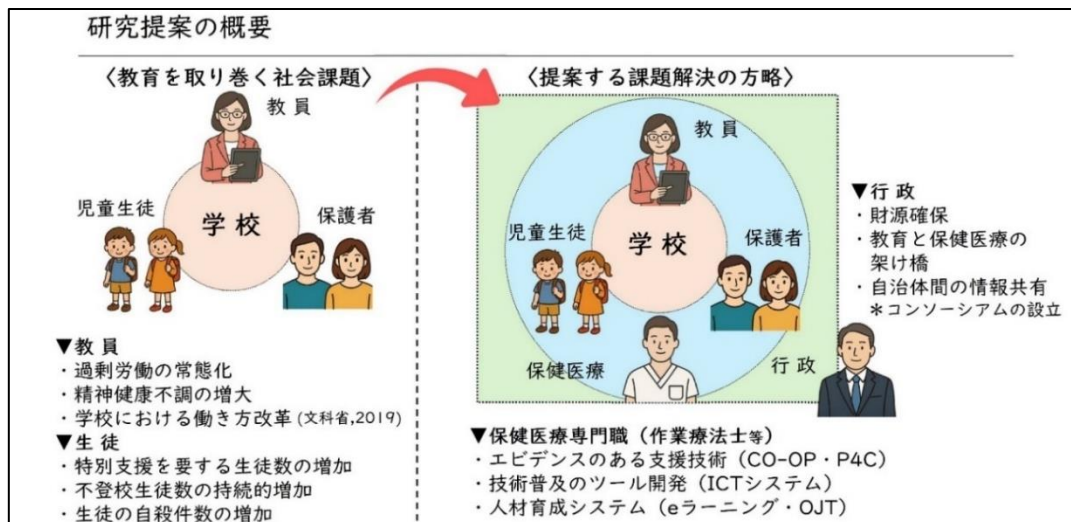
特別支援を必要とする児童生徒の増加や教員の過重労働など、教育現場を取り巻く社会課題に対応するため、学校作業療法を核としたインクルーシブ教育システムのモデル構築に取り組みます。本モデルでは、教育・保健医療・行政の三分野が連携し、課題解決を目指します。

取り組みの方法として、以下の 3 点を推進します。

- ① エビデンスに基づく支援技術の活用、② ICT を活用した支援システムの構築
- ③ 人材育成システムの構築

さらに、自治体間で情報共有するためのコンソーシアムを設立し、多くの自治体で実装可能な仕組みの確立を目指します。

これにより、「教員が教育に専念できる環境づくり」と「児童生徒の活動・参加の実現」を同時に推進し、学校全体のウェルビーイングの向上を図ります。



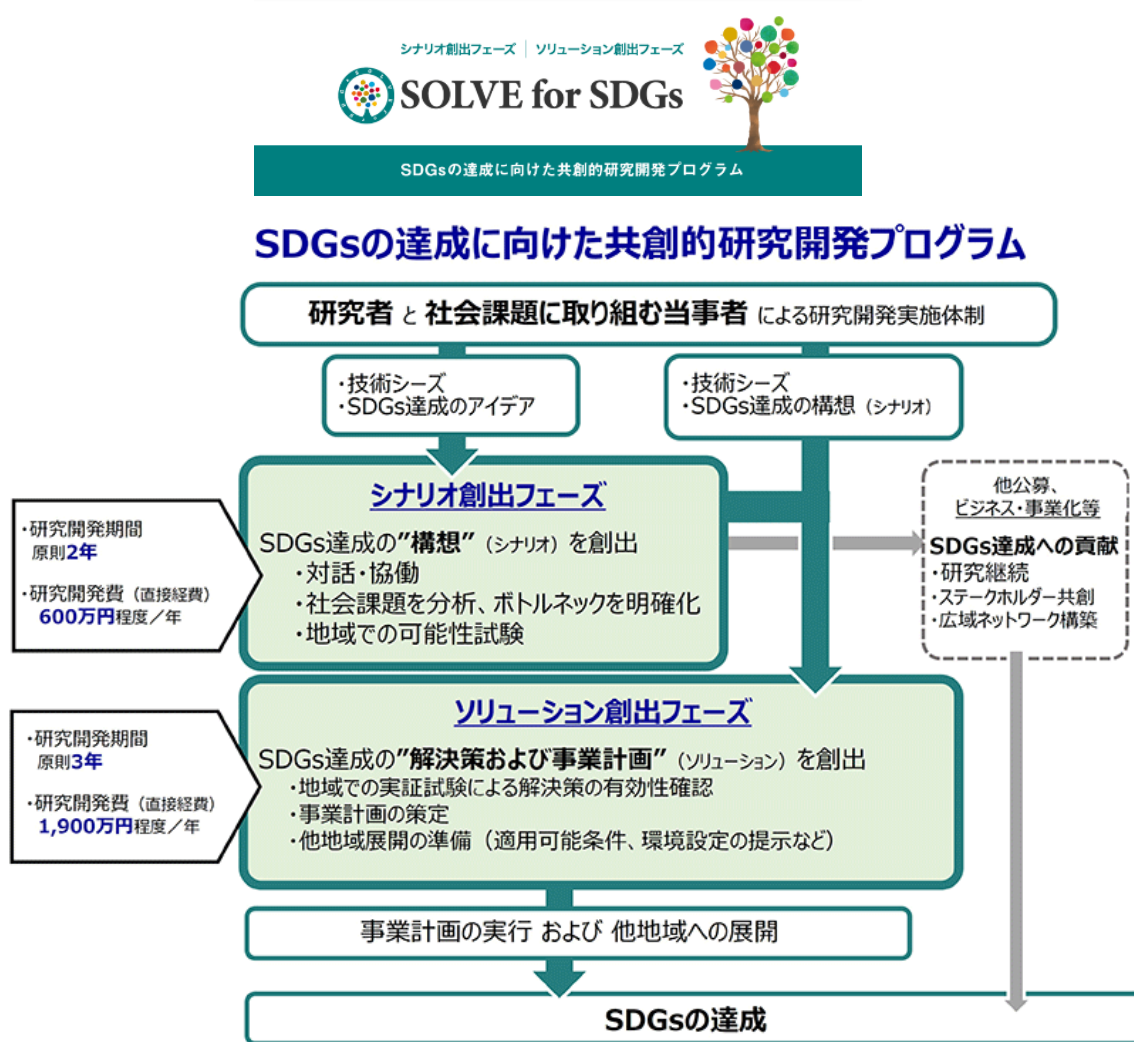
〈参考〉

社会技術研究開発センター（RISTEX）とは

RISTEX は、SDGs を含む社会の具体的な問題の解決や新たな科学技術の社会実装に関して生じる倫理的・法制度的・社会的課題への対応を通して、経済的価値のみならず、新しい社会的・公共的価値の創出を目指しています。社会技術の研究開発を推進するにあたり、研究者と社会の問題解決に取り組む「関与者」（ステークホルダー）が協働するためのネットワーク構築を支援し、自然科学および人文・社会科学の知識を活用した研究開発等に取り組んでいます。

社会技術研究開発センター（RISTEX）のウェブサイトより引用

<https://www.jst.go.jp/ristex/aboutus/>



社会技術研究開発センター（RISTEX）のウェブサイトより引用

https://www.jst.go.jp/ristex/funding/solve/index.html#main-content_01

〈新規採択プロジェクトの提案概要のリンク先〉

https://www.jst.go.jp/ristex/info/press/20250930_01.html

https://www.jst.go.jp/ristex/info/files/20250930_scenario_solution.pdf